Dive PRESS RELEASE

2024年10月16日（水）

各　位

会社名　株式会社　ダイブ
代表者名　代表取締役社長　庄子　潔
（コード番号：151A　東証グロース）
問合せ先　執行役員管理本部長　大野　友裕
（TEL. 03-6311-9833）

ダイブの地方創生事業が手がけるグランピング施設「ザランタン」が2024 年度グッドデザイン賞を受賞
― 多拠点展開のグランピング施設ブランドで初の受賞 ―

株式会社ダイブ(東京都新宿区 代表取締役社長:庄子潔、証券コード 151A 以下、ダイブ)が、地方創生事業として全国6地域の「非観光地」で運営するグランピング施設ブランド「ザランタン」が「2024 年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。多拠点に展開するグランピング施設のブランドとしては初めての受賞となります。

●グッドデザイン賞 受賞ギャラリー
https://www.g-mark.org/gallery/winners/25103?companies=0d0a1700-c361-46ae-8e6e-8910530bf515&years=2024

GOOD DESIGN AWARD 2024


「ザランタン芦別」星の降る夜、童話の森に泊まろう


「ザランタン東かがわ」瀬戸内海のほとり、シーサイドリゾート


「ザランタンあば村」丁寧な時間を過ごす、田舎暮らしリゾート


「ザランタン鹿沼」前日光でととのう、渓流リトリート

【正直、今までのグランピング施設は高すぎた】

グランピング施設「ザランタン」を全国 6 地域で展開中！1 泊 2 食付き 1 万円台/人から。
消滅可能性都市の遊休施設・遊休地を利活用することで開発コストを抑制し、リーズナブルな価格帯を実現。
かつ観光振興による経済効果により持続可能な地方地域づくりに寄与。累計 6 万人以上の宿泊実績を誇る。

【受賞対象の詳細】

●受賞対象：	グランピング施設「ザランタン」
●カテゴリ：	地域の取り組み・活動
●デザインのポイント：	**1. リーズナブルで高満足** 遊休施設・遊休地の利活用により1泊2食体験付き 1.5 万円／人 **2. オーバーツーリズムの解決への寄与** 地域に眠る観光資源を磨き上げ、非観光地における旅の目的地化へ **3. 消滅可能性都市の解決への挑戦** ザランタンを起点に雇用創出や地域連携で関係人口の拡大を目指す
●背景：	日本には現在、急激な定住人口減少により、消滅可能性自治体の社会課題がある。一方、インバウンド増加により、有名観光地はオーバーツーリズムの観光課題が表面化している。定住人口 1 人当たりの年間消費額 130 万円は、外国人旅行者 8 人分、国内旅行者（宿泊）23 人分、国内旅行者（日帰り）75 人分でカバーすることができるため、消滅可能性自治体への観光客の誘客は重要なテーマだといえる。私たちは課題解決のため、消滅可能性自治体や過疎地域などの非観光地におけるグランピング施設「ザランタン」を立ち上げた。事業を進める中で、現状観光地化されていない地域「非観光地」に観光客が訪れるようにするには、消費者ニーズを正しく捉えるマーケットイン思考による経済性と、地域住民・事業者・行政との関係を丁寧に育てる持続可能性を併せ持つビジネスモデルであることが求められた。
●経緯とその成果：	マーケット調査よりみえた「グランピング施設は高い」という消費者課題に対し、遊休公共施設や遊休地を利活用したハード開発によりリーズナブルな価格設定を実現。地域性のある滞在型コンテンツの充実により高い顧客満足度を誇る。BBQ、焚き火、テントサウナなどの全施設共通のアクティビティにとどまらず、日本の原風景の残る山村地域では山菜狩りや野菜収穫体験、渓流釣りを提供し、瀬戸内の海沿い地域では SUP、北海道では星空観察、雲海ツアーを提供するなど地域ごとに滞在をデザイン。結果、「ザランタン」施設全体で累計宿泊数は 60,000 人を突破。地域住民を含む新規雇用を 200 名以上、地域事業者との新規取引を 150 社以上創出。他にも、定住人口 400 人の岡山県津山市阿波村では、開業前はほぼ 0 だった「あば村」の Google キーワード検索数は現在（2024 年 4 月）月間 1 万回を超えるなど、関係人口の創出・拡大にも寄与する。
●仕様：	【利用者のターゲット】日本国内/親子・カップル・友人での宿泊旅行 【利用形態】テント・コテージ など 【利用範囲】サウナ・BBQ・焚き火・収穫体験・渓流釣り・水風呂など（各施設による）

●どこで購入できるか、 どこで見られるか	香川県東かがわ市引田 3066−1／岡山県津山市阿波 3108−4／栃木県鹿沼市入粟野 991／他 【公式】ザランタン東かがわ（https://glampicks.jp/glamping/g269/official/） 【公式】ザランタンあば村 （https://glampicks.jp/glamping/g21263/official/） 【公式】ザランタン鹿沼 （https://glampicks.jp/glamping/g41972/official/）



「ザランタン芦別」星の降る里・芦別での星空観察



「ザランタン東かがわ」瀬戸海のほとりでのSUP・カヤック体験



「ザランタンあば村」雪景色の中でのテントサウナ→滝の水風呂



「ザランタンひたち大宮」7万平米の森の中でのカブトムシ採集

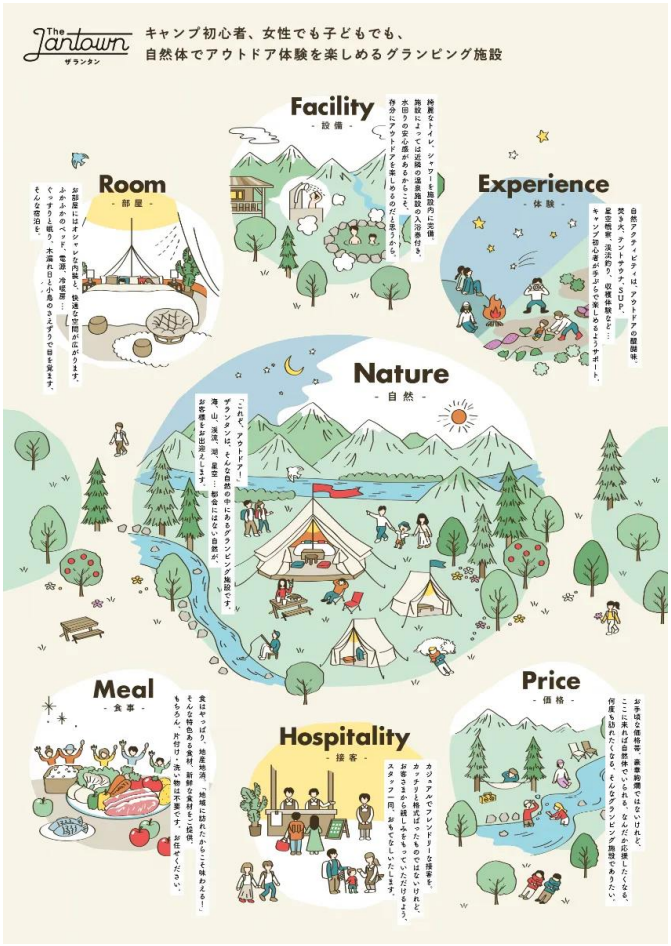
【審査委員の評価】

観光地としては未開拓のエリアで遊休公共施設や遊休地を利活用し、リーズナブルでも質を落とさないグランピングサイトを展開。グランピングのオウンドメディア運営によって広告費を抑制するなど、多角的な効率化が見られる。結果、手頃にグランピング体験を得たい利用者、眠れる地域の魅力発掘、地域経済への刺激といったいくつもの効果が好循環。計り知れない波及効果をももたらしそうだ。「ザランタン」のフィールドは日本全国にあり、消費者側もブランド化された観光地ではない地域に出会うことになる。多様化する現代の価値観にも親和性の高い、新たな観光の在り方だ。

■地方創生事業について

ダイブの地方創生事業は 2019 年に開始し、現在は全国6カ所の地方地域にてグランピング施設およびホテルの運営を行っています。事業の特徴として、日本の有名な観光地ではなく、まだ魅力に気づかれていない「非観光地」に着目し、地方自治体と手を組み、非観光地の遊休施設・遊休地を利用して宿泊施設を運営しています。これにより、コストを抑えながら、企画開発から集客、運営まで一気通貫で行い、D2C での集客や観光 HR 事業と連携した人材の流動化による運営コストの優位性を実現しており、ダイブにしかできない事業を展開しながら積極的に地域経済の活性化に貢献しています。

・ザランタンとは



ザランタン（The Lantown）は、株式会社ダイブが全国に展開するグランピングブランドです。明かりを指す「ランタン」には、「まち（TOWN）の魅力をつなぎ（LAN）、地方創生の火をともす」という意味を込め、観光地化されていない地域を中心に開発しています。

『キャンプ初心者、女性でも子どもでも、自然体でアウトドア体験を楽しめるグランピング施設』をコンセプトに、水回りの清潔さや、地産地消の食事など「ちょっとずつのこだわり」を、施設の随所にちりばめた企画・運営を行っています。

■グッドデザイン賞について

「グッドデザイン賞」は、1957 年に旧通商産業省によって設立された「グッドデザイン商品選定制度」(通称 G マーク制度)を継承する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。単にものの美しさを競うのではなく、産業の発展とくらしの質を高めるデザインを、身の回りのさまざまな分野から見いだし、広く伝えることを目的としています。世界でも有数の規模と実績を誇るデザイン賞として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加するとともに、よいデザインを社会に広める運動としても多くの人びとから支持されています。

（引用元：公益財団法人日本デザイン振興会　https://www.jidp.or.jp/ja/gooddesign/award）

Dive PRESS RELEASE



【株式会社ダイブ・概要】

会　　社　　名　:株式会社ダイブ
創　　　　業　:2002 年 3 月
代表取締役社長　:庄子 潔
本 社 所 在 地　:〒160-0022　東京都新宿区 新宿 2-8-1 新宿セブンビル 10F
サ　　イ　　ト　:https://dive.design/

ダイブは、日本経済の成長エンジン「観光業」の大課題を解決すべく、事業展開しているベンチャー企業です。
基幹事業である観光施設に特化した人材サービス(リゾートバイト)においては、観光施設の大課題である「人手不足」の解決に寄与しており、年間 9,320 人の観光従事者を創出(2024 年 6 月期)。日本人人材と外国人人材あわせて、全国 47 都道府県、4,600 施設以上の観光施設と、人材のお取引実績があります。
また、新規事業の地方創生事業では、全国 6 カ所の非観光地(過疎地・消滅可能性都市を含む)において、D2C の観光事業を展開。収益の創出・外貨の獲得はもちろん、地域事業者と連携することでのサステナブルな地域づくりに貢献しております。
その他にも、グランピング施設に特化した WEB メディア「 GLAMPICKS(グランピックス)」の運営をはじめとした宿泊施設に対しての集客支援など、IT 領域での事業展開も積極的に行っております。